


ところざわ

# 市議会だより

No.213  
今回の定例会は

12月	3月
9月	6月

Tokorozawa city council



「教育が一番！」を掲げ  
子どもたちに笑顔を届ける

ミュージカル落語家

さんゆうてい きゅうと

三遊亭究斗さん

# 12月定例会での 議案審議



【会期】	12月2日～12月20日（19日間）
【市長提出議案】	専決処分の承認 1件
	補正予算 10件
	条例関係 2件
	契約締結 1件
	契約変更 1件
	市道認定 1件
	人事案件 1件
【請願】	1件
【議員提出議案】	1件

## CONTENTS

### 今回の主な内容

- 議案等の審議 …………… 2～6ページ
- 審議結果一覧 …………… 7ページ
- 一般質問 …………… 8～12ページ
- ギカイレポート …………… 13～15ページ
- 所沢から輝け！！ …………… 16ページ

## 決算の認定、市長提出議案などのおもな概要

### 決算特別委員会で集中審議



認定第1号～認定第10号

### 令和5年度所沢市一般会計・特別会計・事業会計決算の認定



討論の様子はコチラ→



### ポイント 決算の認定とは

予算が収入・支出の見積もりであるのに対し、決算は収入・支出の結果です。  
 決算の認定とは、予算がどのように使われ、いかに成果を上げたのかを議会が市民の立場に立って審議し、適切であると認めることです。

### 【討論】決算認定に反対

**反対** 矢作 いづみ  
 (日本共産党)



- 認定第1号：一般会計決算については、民生費のうち生活保護事務費の電子レセプトシステム改修委託料が、生活保護受給者をマイナンバーカードにつなげるための改修であることから、反対する。
- 認定第5号：国民健康保険特別会計決算については、保険税賦課限度額の引上げが含まれている。国の国民健康保険の都道府県統一方針に基づいて進められているが、加入者への負担増は認められない。
- 認定第6号：介護保険特別会計決算については、介護保険法改正による自治体情報システム標準化のためのシステム改修、介護報酬改定などが含まれていることから、反対する。
- 認定第8号：水道事業決算については、インボイス導入のためのシステム改修が含まれている。インボイス制度により増税が進められていることから、導入のためのシステム改修は反対する。

※審議結果、議員別賛否一覧は7ページをご覧ください。



議案第86号

# 第6次所沢市総合計画※後期基本計画の策定について

(問合せ：経営企画課 2998-9027)

## 総務経済常任委員会で審査



委員会会議録はコチラ➡

### ●これまでの議論

8月19日～21日	委員会 (閉会中審査)	第6次所沢市総合計画基本構想・前期基本計画の振り返り
9月2日	本会議	議案第86号「第6次所沢市総合計画後期基本計画の策定について」の上程
9月5日		総務経済常任委員会に議案を付託
9月6日、9日	委員会	執行部への質疑
9月24日	本会議	閉会中の継続審査をすることに決定
10月2日	委員会 (閉会中継続審査)	所沢市総合計画審議会の委員のうち、市民検討会議から選出された委員を参考人招致 9月6日、9日に引き続き、執行部への質疑
10月22日		自由討議(論点整理)
10月25日		自由討議(論点整理)、修正案を提出、意見・採決(修正案を可決)、付帯決議
12月2日	本会議	委員長報告、討論、採決(修正可決)

※市の最上位に位置付けられるもので、将来都市像を定め、これを実現するための各分野の取組の方針等をまとめた計画  
前期基本計画の期間・・・令和元年度～令和6年度 後期基本計画の期間・・・令和7年度～令和10年度

### ●ギカイの結論

### ▶▶▶ 修正可決

委員会として審査を進めた結果、『新所沢、小手指地域のまちづくり』『旧市庁舎や文化会館跡地の活用』『期日前投票所の増設・投票環境の充実』に関する内容の修正案を可決しました。



審議結果はコチラ➡

## 議会の思いを反映!!

【修正内容】(※修正部分は文字に色がついています)

### 第5章 魅力・元気・文化を誇れるまち 第3節 観光・にぎわい (2)課題

- ・新所沢・小手指地域では、シンボリックな商業施設が閉店したことにより地域の魅力発信やにぎわいの創出などを検討する必要があります。



新所沢駅西口周辺



小手指駅北口周辺

### 第6章 自然と調和する住みよいまち 第2節 市街地整備 (2)課題

- ・新所沢駅・小手指駅での大規模商業施設の閉店により、この地域のまちづくりについて検討する必要があります。
- ・まちの中心部に残された貴重な市有財産である旧市庁舎や文化会館跡地が活用されていない状態であり、その活用方法や周辺まちづくりについて検討する必要があります。



旧市庁舎(宮本町)



旧文化会館(宮本町)

### 第7章 未来(あす)を見つめたまちづくり 第2節 市民参加・情報共有 (2)課題

- ・期日前投票所の増設等について検討する必要があります。

#### (4)基本方針 7-2-1 市民参加の推進

幅広い世代の多様な意見が市政に反映されるよう、審議会での市民委員の選出やパブリックコメント手続など、参加の機会を確保するとともに、無作為抽出による公募などの仕組みづくりを進め、また、選挙における投票環境を充実させることにより、市民参加の推進を図ります。

また、これからのまちを担う若年層の市民参加につながるよう、市公式SNSを活用するなど、様々な機会を通じて市政情報を積極的に発信します。



期日前投票所  
(市役所8階)



期日前投票所  
(所沢駅東口市民ギャラリー)



議案第 119 号 所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

## 国民健康保険の安定運営を目指します

(問合せ：国民健康保険課 2998-9131)

平成 30 年度に国民健康保険が都道府県単位化され、県は財政運営の責任主体となり、国民健康保険の安定的な運営を図るために国民健康保険運営方針を策定しています。

令和 5 年 12 月に策定された「埼玉県国民健康保険運営方針（第 3 期）」では、保険税水準の完全統一の目標年度が令和 12 年度とされ、それに先立ち令和 8 年度には法定外繰入（赤字繰入）の解消、令和 9 年度には県標準保険税率に市町村ごとの収納率を勘案した「市町村標準保険税率」とする「準統一」としていくこととされています。

県の運営方針に沿って保険税水準の統一に向け、賦課方式の変更と税率の改正を行う必要があるほか、本市においては、ここ数年、法定外繰入が生じており、令和 8 年度に向けて、令和 7 年度の税率等を変更して繰入額の削減を行う必要があります。

### 【令和 7 年度 国民健康保険税の 4 つの変更ポイント】

- ①医療給付費分の資産割と平等割を廃止します。
- ②医療給付費分の所得割の税率を引き下げ、均等割額を引き上げます。
- ③後期高齢者支援金等分と介護納付金分の所得割の税率と均等割額を引き上げます。
- ④後期高齢者支援金等分の賦課限度額を引き上げます。

《国民健康保険の都道府県単位化（県と市の共同運営）》



### ●ギカイの視点

**問** 今回の税率改正で、国民健康保険特別会計の赤字は令和 8 年度に解消されるのか。

**答** 今回提案した税率で令和 7 年度の当初予算を試算したところ、およそ 8 億円の財源不足となる見込みで、法定外繰入の解消には至らないものです。今後も、県の運営方針に沿って継続した税率の見直しを図っていく必要があります。

**問** 今回、税率改正しなかった場合、本市に何かペナルティはあるのか。

**答** 税率改正を行わなかった場合のペナルティはありませんが、県への納付金が確保できず、多額の財源不足が生じることが見込まれます。また、県の運営方針に沿った税率改正を各自治体が進めている中で、本市が足並みを乱すことにもなりかねず、将来的には県が国から受ける交付金に影響を及ぼすだけでなく、県全体の納付額や県全体の標準保険税率にまで影響が生じる可能性があります。

**問** 県と市の共同運営となっているが、脱退することは可能なのか。

**答** 都道府県と市町村が国民健康保険を共同で運営していくということは、法の定めによるものであり、任意に参加しているものではないため、脱退できるものではありません。

## 【討論】議案第119号に賛成・反対

## 議案第119号

## 所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

討論の様子はコチラ➡



反対

長岡 恵子

(立憲民主党  
・れいわ新選組)

本市では、ここ数年国民健康保険特別会計への法定外繰入が生じており、令和5年度は13億8,609万8,000円の法定外繰入が生じている。こちらは二重課税となっている状況から、これを解消していくことが必要であることは理解できる。今回改正した場合、本市の赤字解消は見込まれるのかという質疑に対し、「今回提案した税率で令和7年度の当初予算を試算したところ、およそ8億円の財源不足となる見込みであり、法定外繰入の解消には至らず、今後も県運営方針に沿って継続した税率の見直しを図っていく必要がある。」との答弁であった。国民健康保険税は高額療養費の支給対象者の増加もあることから、今後も継続して負担額が増加することが想定されるため、もはやこれは国が対応を考えなければならない課題である。

反対

末吉 美帆子

(立憲リベラルの会)



このたびの改正案により、複数の子どもを育てる世帯は増税となることから「子どもを大切にすまちな所沢」とは何かと問われれば、返す言葉がない。国民皆保険を実現するために、国民健康保険は他の医療保険に属さない全ての人を被保険者にするためにスタートした。昨今では、高齢化、産業構造の変化、年金・医療制度の改正の影響を受け、無職者や非正規雇用の割合が増加している。確かに、国民皆保険制度の最後のとりでであり、セーフティネットである国民健康保険制度の運営を安定化させていくことは、社会保障の制度上で非常に重要な課題であるが、国民健康保険は他の保険には加入できない実態、減免世帯が約半数の実態、物価高で日々の生活に大変苦しんでいる方が増加している実態の中、最後のとりでという観点からみて、みんなで守るということが極めて重要であると考え、今回の改正案には賛成はできない。

反対

中井 めぐみ

(日本共産党)



国民健康保険は加入者による助け合いではなく、国や都道府県、市町村からの負担を原則として成り立つ社会保障制度である。子どもから子育て世代、お年寄りまで、全ての人々の生活を生涯にわたって支えるものでなければならないはずである。しかし、国民健康保険税のこれ以上の負担は、国民健康保険の加入者が生活していけないレベルまできている。市が法定外繰入を行ってきたのは、市民にとって必要な医療費を負担してきたものであり、社会保障を行う市の責務として実施してきたことである。一番影響が多い世帯は子育て世帯、そして、子どもの多い世帯ほど負担が大きいということがはっきりした。それは、子ども中心のまちづくりを目指す小野塚市政とは逆行するものである。国民健康保険制度を守ることは大切だが、国民健康保険を守るために、加入している市民が生活していけなくなるとは本末転倒である。

賛成

佐野 允彦

(自由民主党・維新  
・参政・無所属の会)

今回の改正は、医療給付費分の資産割と平等割を廃止することと所得割税率を引き下げ、均等割額を引き上げること、そして、後期高齢者支援金等分と介護納付金分の所得割税率と均等割額を引き上げること。さらに、後期高齢者支援金等分の賦課限度額を引き上げることの4点が挙げられる。資産割の廃止については、資産は風邪をひかないのに、なぜ国民健康保険税の対象だったのか。租税の中立性、応益性を考えれば、廃止は当然のことであり、評価されるべきである。一方、均等割の負担増については、子ども医療費は無償で、さらに本市では18歳までが無償であることから、無償化による子どもの過診療によって保険税が圧迫されているという問題もある。子どもがいる家庭に対しては、所得の高い低いにかかわらず、扶養者数に応じて今まで以上に負担増を求めていくことは当然である。

## 請 願



請願第 2 号

## 所沢市議会は、市長が除染土実証事業の中止を 環境省に文書で申し入れるよう求めて下さい。

## 請願の要旨

環境省は一貫して所沢での実証事業の実施を表明しています。所沢市議会は、市長が市議会決議や弥生町町会決議、中止を求める署名に示された市民の声を踏まえ、除染土実証事業の中止を環境省に文書で申し入れるよう求めて下さい。

## ●委員会審査で出た意見

市長も市議会も地元自治会も反対の意思を表明していることから、新しい事態が起こってきたときに、市議会は動きを起こしていけば良く、その際には、市長や地元自治会の皆様にも同じように意思を示してもらえば良い。

この請願のまま継続していくということは良いことではないと思うので、不採択とすべきである。

## 議員提出議案



議員提出議案第 4 号

## 佐野允彦議員に猛省を求める決議



佐野允彦議員は、総務経済常任委員長のとときに、職務を預かる立場でありながら、その長として委員会を代表して出席すべき公務を、本人の趣味を優先させて欠席したばかりでなく、SNSにその様子を投稿し、出欠に関して副委員長に相談することもなく、独断で欠席し、市民に対して委員会の信頼を傷つけたことは甚だ遺憾である。

これは、我々所沢市議会議員が遵守しなければならない所沢市議会基本条例第 4 条第 3 号に定める「議会活動を最優先するよう努めること。」に反する。

また、本定例会に上程された議案第 119 号「所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」の賛成討論では、国民健康保険は最後のセーフティネットであり、構造的にその被保険者は何らかの理由で働けない方など、低所得者層が多いという特徴がある。その中で、「自身の困窮を増税や逆進性のせいにするのは、まさに甘えの極致」、「貧窮の境遇から救いを求めて差し出された、か弱き弱者の手を優しく握り返してやるとでも思っているのでしょうか。冗談ではありません。反論も抵抗もできない社会的・経済的弱者に対しても、甘やかすことなく、冷徹に、無慈悲に、容赦なく、徹底的に収奪することこそが、効率的な税収確保のための最短距離であり、最善手」である旨の討論を行った。

これは、自身の政治的信条は尊重されるべきであっても、このような激しい言葉で社会的弱者を叩き、貶めるような発言は看過できない。これは、地方自治法第 132 条「普通地方公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならない。」、所沢市議会基本条例第 4 条第 2 号「議会の構成員として、個別的事案の解決だけでなく、市民全体の福祉の向上を目指すこと。」に著しく反し、議会の信頼を傷つける発言であり、会派を代表して討論を行っている以上、本来ならば、この討論を認めたと当該会派の責任も指摘せざるを得ない。

さらに、佐野允彦議員は、定例会の一般質問や委員会において不穏当発言を繰り返し、その都度本会議が止まる事態が頻発している。議長からも再三注意をされているにも関わらず、自らの主義主張を繰り返す行為は、もはや議事妨害に値し、執行部の残業にもつながっていることが懸念される。

以上のことから、佐野允彦議員の、所沢市議会議員として所沢市議会全体の名誉を傷つける行為に対し、猛省を求めるものである。

# 令和6年12月定例会 審議結果

## 徹底 審議

### 市長提出議案(18件)

■賛否の分かれた議案等 ■については、議員別賛否一覧をご覧ください

議案番号	議案件名	付託委員会	結果
議案第86号	第6次所沢市総合計画後期基本計画の策定について	総務経済	修正可決
議案第108号	専決処分承認を求めることについて(令和6年度所沢市一般会計補正予算(第7号))	予 算	承認する
議案第109号	令和6年度所沢市一般会計補正予算(第8号)		原案可決
議案第110号	令和6年度所沢市交通災害共済特別会計補正予算(第1号)		
議案第111号	令和6年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計補正予算(第1号)		
議案第112号	令和6年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計補正予算(第3号)		
議案第113号	令和6年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		
議案第114号	令和6年度所沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
議案第115号	令和6年度所沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
議案第116号	令和6年度所沢市水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第117号	令和6年度所沢市下水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第118号	所沢市保健所設置検討委員会条例制定について	総務経済	
議案第119号	所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	健康福祉	
議案第120号	北野下富線(4工区)道路築造工事(下部工その1)請負契約締結についての一部変更について	建設環境	可 決
議案第121号	所沢駅ふれあい通り線整備工事(その7)請負契約締結について		
議案第122号	市道路線の認定について		
議案第123号	令和6年度所沢市一般会計補正予算(第9号)	—	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	同意する

### 決算認定(10件)

議案番号	議案件名	付託委員会	結果
認定第1号	令和5年度所沢市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定する
認定第2号	令和5年度所沢市交通災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第3号	令和5年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第4号	令和5年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第5号	令和5年度所沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第6号	令和5年度所沢市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第7号	令和5年度所沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		
認定第8号	令和5年度所沢市水道事業決算の認定について		
認定第9号	令和5年度所沢市下水道事業決算の認定について		
認定第10号	令和5年度所沢市病院事業決算の認定について		

### 請 願 (2件)

番 号	件 名	結 果
第 2 号	所沢市議会は、市長が除染土実証事業の中止を環境省に文書で申し入れるよう求めて下さい。	不採択
第 3 号	国に「消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)廃止の意見書」提出を求める請願書	審査未了

※審査未了・・・会議に上程された議案や請願等が会期中に議決されなかったときは、次の会議に持ち越さないことが地方自治法第119条に規定されています。請願第3号は議決に至らず審査未了となりました。

### 議員提出議案(1件)

議案番号	件 名	結 果
第 4 号	佐野允彦議員に猛省を求める決議	原案可決

## 議員別賛否一覧

議案に対する各議員の賛否を表示しています。

賛成：○ 反対：×

議案番号	自由民主党・維新・参政・無所属の会					公明党					至誠自民クラブ					日本共産党				市民クラブ 未来			さきがけ		立憲リベラルの会	立憲民主党・れいわ新選組	立憲民主党・赤川洋二									
	斉藤かおり	神戸鉄郎	佐野允彦	大庭祥照	前田浩昭	入沢豊	石原昂	植竹成年	大久保竜一	川辺浩直	亀山恭子	山口浩美	福原浩昭	谷口雅典	大石健一	大館隆行	秋田孝	斎藤由紀	小林澄子	中井めぐみ	花岡健太	矢作いづみ	松本明信	粕谷不二夫	中 毅志	青木利幸	島田一隆	長谷川礼奈	荻野泰男	石本亮三	末吉美帆子	長岡恵子	赤川洋二			
第86号	修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第109号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 12月定例会での

# 一般質問



議員が自身の政策提案も含めて、市に  
対して考えを聞くのが一般質問です。  
皆さんの生活にかかわる内容がきつと  
あります。

各議員の質問の中から一項目を  
ダイジェスト版でお知らせします。  
すべての質問項目や動画は、市議会  
ホームページで公開しています。



↑動画はコチラ

### 多摩湖横断ゴンドラ構想を実現し 公共交通の充実と 観光魅力のアップを



市民クラブ  
未来 毅志  
中

**Q** 多摩湖から見る狭山丘陵の緑と桜、紅葉、富士山の眺望など、観光価値は高く、狭山丘陵が本市の南の玄関口として扉を開けることが、今後の所沢の未来をつくっていくことだと思ふ。多摩都市モノレールの所沢方面への延伸の実現が難しいのであれば、多摩モノレール上北台駅から西武球場前駅をゴンドラで結ぶ、多摩湖横断ゴンドラ構想を今後検討してみてもどうか、市長の見解を伺う。

**A** 本市の大きな魅力である狭山丘陵の大自然を体感でき、さらには多摩地域の回遊性もつくることのできるような、話題性のあるゴンドラは、有効な乗り物として大変興味深いものである。財政面や関係機関との調整などの課題が少なからずあり、行政としてできることには限りがあるところだが、本市のさらなる魅力の創出という点においては、可能性を秘めているものと考えている。

### ケアする人のためのケアを



党 恭子  
公明 亀山

**Q** 在宅での障害児の育児ケアは、親や介護者にとって大きな負担であるが、本市では、その負担を軽減するための訪問型在宅レスパイトケア事業を実施していない。充実した支援という観点から、今後は医療的ケア児のための看護師の確保や育成の支援などレスパイト施設を充実させ、利用しやすいように支援していくことが重要だと考えるが、どのように進めていくのか、見解を伺う。

**A** 医療的ケア児支援の情報交換会を引き続き実施することで、支援者間のノウハウの共有を進め、実際に支援を担える地域内の人材を育成していく。また、医療的ケア児受入設備整備事業により、既存の障害児通所支援事業所へのベッド等の購入補助を行うことで、受入先を増やすとともに、これらの取組を通じて、地域の支援力の向上を図っていく。

### よもぎ橋周辺の 浸水被害対策を



至誠  
クラブ 孝  
秋田

**Q** よもぎ橋は、上安松と東村山市秋津町4丁目をつなぐ柳瀬川に架かる橋である。平成28年の台風9号、令和元年の台風19号により甚大な被害を受けた上安松道長自治会16班から、令和6年10月に市長に要望書が提出されている。よもぎ橋周辺は、行政区が入り乱れており、埼玉県、東京都、東村山市、本市で膝を突き合わせる必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 要望をいただいた、よもぎ橋周辺の浸水被害については、これまでも甚大な被害が発生しており、解決に向けて早期に取り組むべき課題であると認識している。まずは市の関係部署での被害状況の再確認と、どのような対策が必要かを調査するように指示したところである。今後は、これらの調査内容を踏まえ、市と県、東村山市で協働体制を築き、よもぎ橋周辺の総合的な浸水対策に向けて進めていきたいと考えている。

### 新所沢パルコ跡地の利用協議の 進捗状況について



新・維  
所属の 会  
自由 無  
参政 石 原 昂

**Q** 本年2月で新所沢パルコが閉店して一年を迎える。パルコ跡地の活用については将来性を考えていくことが必要だが、あまりにも時間をかけ過ぎてはならないと思っている。これまでの協議の結果、跡地利用の方向性は決まったのか。決まっていなかったのであれば、進捗状況について公開可能な範囲で、地元住民や市民に状況を伝えるべきだと考えるが、見解を伺う。

**A** 新所沢パルコ跡地の活用については、地権者の合議体である「新所沢パルコ将来計画検討会」において、令和5年7月から令和6年10月までの間に計10回にわたり会議が開催され、地権者による合意形成に向けた協議が行われている。このことは、地元自治会の方にも説明させていただいているが、現在は地権者の意向を踏まえて方向性を整えている段階なので、いましばらくお待ちいただきたい。



### 聴覚障がい者に寄り添った 防災対策を



日本共産党  
中井 清美

**Q** 聴覚障害者協会から、災害時に「資格を持った手話通訳者」と「手話ができます」という人が区別できるように、手話通訳者にはビブスを着用してほしいとの要望が寄せられている。手話通訳者と手話ができるという人では全く異なり、災害時は生死に関わる問題であるため、手話通訳者と一目で分かるように区別していただきたいが、見解を伺う。

**A** 災害時に聴覚障害者に情報提供していく上で、手話通訳者のみならず手話のできる方にも対応していただくことが必要だと考えている。そのため、社会福祉協議会が提供する「手話ができます」と表示する聴覚障害者災害時援助用バンダナの使用を想定している。このバンダナは、所沢市手話通訳・要約筆記派遣事務所に登録している手話通訳者にも既に渡しており、ビブスに代わるものとして活用できると考えている。ビブスの必要性については、他市の状況も参考にしながら研究していく。

### 蛍光灯の2027年問題に向けて 公共施設のLED化の推進を



自由民主党・維新の会  
参政・無所属  
入 豊 裕

**Q** 家庭やオフィス、公共施設で長年利用されてきた蛍光灯だが、環境と健康への影響を理由に、2027年末に製造と輸出入が禁止される。2027年ぎりぎりにLEDに移行すると、全体の価格が高騰する可能性があるがあり、いち早く進めるべきである。市の事業の中で優先順位が高いと考えるが、見解を伺う。

**A** 本市の公共施設のLED化は、以前から、ゼロカーボンシティの実現として、LED化を進めていくという考え方はあった。財政的な状況もあり、なかなか進まなかったこともあるが、今回、蛍光灯の2027年問題が浮上してきたことで、公共施設のLED化は加速度的に進めていくものだと思っている。施設の電気がつかなくなるといった、市民サービスの低下を招くこととはあってはならないので、市として重要な政策だと考えており、今後、計画的に取り組んでいく。

### 所沢市まちづくりセンター 設置条例の見直しを



日本共産党  
日岡 健太

**Q** 令和6年9月定例会で可決された「所沢市まちづくりセンター設置条例」だが、市民の政治活動の自由や信教の自由を脅かしかねない、利用者を制限するような条例である。条例第7条第2号「政治的活動又は宗教的活動に使用するおそれがあるとき。」に関しては、条例の改正が急務だと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 所沢市まちづくりセンター設置条例は、「社会教育法」上の公民館として運営するため、設置目的、センターの位置づけ、業務内容を明確にしており、市長部局でも引き続き公民館運営審議会を置くこととしている。また、条例については、これまでの使用に新たな制限を加えることを意図したものではない。現在、市民部において条例施行に必要な細部を規定する施行規則の策定を行っており、新たな条例においても従前の公民館と同じように利用できるようにする。

### 大学進学に活用できる 支援策を



自由民主党・新選組  
立憲  
れい 岡 恵子

**Q** 本市の育英奨学金は、高等学校または高等専門学校生徒が対象であり、大学生向けにはない。大学卒業後、社会人になっても給料を学費の返済に充てることで預金がしづらく、家庭を持つことをちゅうちよする若者がいる現状がある。岩手県陸前高田市では、返済不要の給付型奨学金事業のガバメントクラウドファンディング②を実施しているため、本市でも検討しているのではと考えるが、見解を伺う。

**A** ガバメントクラウドファンディングは、財源確保の一つではあるが、財政上の制約もあることから難しいものと考えている。しかしながら、大学等の教育費に対する支援については、国において拡充されてきており、加えて、本市の給付事業である育英奨学金・遺児奨学金は、市の単独事業として他市に例のない事業であることから、引き続き支援を必要とする方が利用できるように、周知に努めていく。

### 水道スマートメーター 導入の検討を



さきがけ  
長谷川 礼奈

**Q** 水道スマートメーターは、検針業務を遠隔で行えるだけでなく、漏水の早期発見、高齢者の見守り、防災時の迅速な対応など、様々な利点がある。本市の現行の検針業務の人員費や運用コストを削減しつつ、業務の効率化を図る観点から、水道スマートメーターの導入をどのように評価しているのか。また、導入に当たっての課題は。

**A** 検針員の人手不足が深刻化している地域では、水道スマートメーターの導入と専用アプリの遠隔確認により、人手不足の解消につながるものと認識している。本市においては、現在のところ検針員が不足している状況ではないが、水道スマートメーターを導入する場合、電子メーターや通信機などのインシャルコストのほか、通信費用などのランニングコストについても、現行の検針費用よりもコスト高になってしまふことが課題として挙げられる。

### 所沢駅西口の 交通対策について



自由民主党・維新の会  
参政・無所属  
前 浩 昭

**Q** 県道久米所沢線のワルツ所沢前の車線が大踏切側に左折するレーンがなくなってしまう影響で、局所的に渋滞が発生している。地域からは、左折レーンを再び設けてほしいという声が寄せられているが、対応は可能なのか。

**A** 道路整備での車線などの交通規制を伴う内容については、埼玉県警察との協議が必要となる。この協議においては、大踏切から来た車両が左折または右折する際、県道久米所沢線の左折レーンで停車している車両の死角から直進車両が来ると接触事故などの危険があるとの考えが示されたことから、交差点の安全性を確保するために左折レーンを撤去することになった。県道久米所沢線が完成後、再度、埼玉県警察と協議を行ったところ、警察としては、現在の交差点の形状が安全な形であるとしながらも、地域の声も大切にすべきとの考え方が示されたことから、車線の書き直しを予定している。

保育施設の3歳児クラス以上の

受皿確保策を



自由民主党 維新の会  
参政 無所属 神戸 鉄郎

**Q** 地域型保育園や2歳児クラスまでの認可保育園などの小規模園は増えているが、3歳児クラス以上の保育施設の受皿が不安だという声が寄せられている。そのようなニーズに対して市長の見解を伺う。

**A** 既存の保育施設での定員増や幼稚園の認定こども園への移行などにより定員の拡大を図るとともに、必要となる保育士を確保するため、保育士の給与改善補助金の増額や奨学金の返済支援

物価高騰の中  
生活保護費の拡充を



日本共産党  
矢作 友み

**Q** 財務省は、現在の生活保護基準額が一般低所得世帯の消費水準を上回っているとして引下げを主張している。生活保護受給者は、物価高騰の下で切実な生活実態を訴え、物価高騰に見合う約10%の基準額引上げを求めて、国会議員への緊急要請行動が行われている。全国市長会でも基準額の引上げを要求しており、基準額の引下げなどあり得ないと感じている。国に対し、生活保護費の削減中止と基準額引上げを求めたいと考えるが、市長の見解を伺う。

**A** 生活保護基準額の引上げの要求については、全国市長会を通じて、社会福祉施策の充実強化に関する提言において、生活や住宅をはじめとする扶助費基準について、物価高騰の状況を踏まえた見直しを図ることを求めている。報道によると国では関係省庁で協議が行われていると聞いているので、その動向を見守っていく。

所沢市公共施設長寿命化計画に

基づいた取組の推進を



自由民主党 維新の会  
島田 一隆

**Q** 本市の今後の児童生徒数の推計によると、少子化の影響により、小学校1年生の生徒数が令和12年度には2,000人を切ることになる。小中学校の統廃合について、藤本前市長は「学校はこころのふるさとであり、統廃合はやらな

い」と断言していたが、校舎の老朽化や児童生徒数の減少、教員の成り手不足などを考慮すると、いずれは避けては通れない道なので

はないか。やむを得ない場合は、統廃合も選択肢の一つと考えているのか、市長の見解を伺う。

**A** 所沢市公共施設長寿命化計画にも位置づけられているとおり、学校は地域の皆さんにとって身近な施設であることから、重要な施設であると考えているが、今後、児童生徒数の減少などの環境変化があった場合には、適切に対応していく必要があると考えている。

小手指ヶ原公園の予定地に

郷土資料の収蔵施設の整備を



自由民主党 維新の会  
至誠クラブ 大館 隆行

**Q** 本市では、市制施行80周年に向けて、中核市移行、保健所の建設、さらに市民医療センターの再整備計画が着々と進んでいる。令和5年の選挙で、市長は「所沢市はやれるのにやらな

い」と何回も繰り返しており、公約の23番目に「所沢市の歴史・文化などを保存できる場所の設置」と記載している。そこで、博物館構想が難しいのあれば、市では小手指ヶ原公園構想があるので、歴史を大切にす

参議院議員通常選挙に向けて

期日前投票所の増設を



自由民主党 維新の会  
山口 美浩

**Q** 現在の2か所の期日前投票所は市の中心部で駅も近いが、三ヶ島や山口、富岡柳瀬地区からは車での移動が必須であり、有権者にと

って大きな負担である。投票機会の喪失は大きな課題であり、市民サービス向上の視点からも期日前投票所を増やすべきだと考えるが、見解を伺う。

**A** 選挙管理委員会では、これまで当日投票所の充実を優先して取り組んできたが、様々な意見や要望をいた

所沢航空記念公園に整備予定の

スケートボード場について



自由民主党 維新の会  
参政 無所属 佐野 允彦

**Q** 東京オリンピックでの日本人選手の活躍により、スケートボードは近年注目されている。スポーツとしてのスケートボードをもっと浸透させることは大切で

あり、そのためには練習環境の整備は必須である。所沢航空記念公園内のスケートボード場の設置に向けた計画の現状は。また、計画当初では噴水付近に設置予定だったが、公園南西側の少年スポーツ広場脇に場所が変更となった。その理由

を伺う。

**A** 県に確認したところ、所沢航空記念公園内にスケートパークを整備するための基本構想を検討するため、現在プロポーザルを実施しているとのことだった。設置場所の変更については、当初計画した場所ではドッグランが近くにあり、スケートボードの音で犬が驚いてしまうなどの弊害があることが分かり、少年スポーツ広場のトイレの南側に変更したとのことである。

闇バイト強盗に  
加担させないために



至誠クラブ  
立憲リベラルの会  
谷口 雅典

**Q** 闇バイト強盗が全国で多発し、本市でも事件が起こり、体感治安が悪くなっている。闇バイトに加担して逮捕された人のコメントでは、「借金があり、高額バイトの誘いに手を出してしまった」という後悔の言葉が報道されていた。犯罪への加担を防ぐ対策の中期的な課題として、お金の使い方、金銭管理能力、自己管理能力を身につけさせる教育が必要になると実感しており、金銭管理教育をさらに強化する必要があると考えるが、見解を伺う。

**A** 家庭科の学習の消費生活・環境の分野において、小学校では収入と支出のバランスを考えること、中学校では金銭の管理と購入について学ぶ機会を設けている。また、適切な金銭管理を行うことは、自立した生活をしていく上で大変重要なスキルであり、児童生徒に収入の範囲で計画的にお金を使うことなどを指導することは大切であると考える。

中核市とまちづくりについて



立憲クラブ  
立憲新選組  
赤川 洋二

**Q** 本市のまちづくりの課題をどう捉え、中核市制度を利用して、どのようなまちづくりを目指していくのか、市長の見解を伺う。

**A** 人口減少社会の進展や自然災害の激甚化、DXの推進、新興感染症の流行など、本市を取り巻く社会情勢の変化に伴う市の課題は様々である。その上でどのようなまちづくりをするかは、第6次所沢市総合計画後期基本計画で示しているが、まちの未来に向けた取組として、「こどもを中心としたまちづくり」と「中核市移行による地方分権の推進」をはじめとする行政全般の諸課題の解決に取り組んでいく。中核市になることで様々な権限が市に移譲され、これまで以上に市民に寄り添った形で、より質の高い行政サービスを行うことが可能となるものと考えている。中核市への移行を一つの手段として、市民にとって、もっと暮らしやすいまち、もっと自主性のあるまち、もっと魅力あるまちを実現していく。

多頭飼育崩壊  
環境部門と福祉専門職と  
連携した課題解決を



立憲リベラルの会  
末吉美帆子

**Q** 多頭飼育をしている飼い主が精神的、身体的、経済的問題がある場合、地域社会からの孤立や、ごみ屋敷などの社会問題にもなりかねない。環境省のガイドラインでは、行政の異なる部署の連携で飼い主の生活支援や再発防止を行う重要性を示している。東京都港区では、保健所が福祉に関わる方たちとペット飼育問題や多頭飼育について勉強会を開催している。本市でも環境部門と福祉専門職との連携や広報

**A** ペット問題に関する福祉専門職への周知啓発については、所管する県の担当部局より福祉専門職などに向けたチラシ配布の依頼を受けて、協力しているところである。本市としては、こうした県の取組を注視するとともに、それぞれのケースの支援の中での環境部門や専門職を含む関係機関と連携した課題解決に引き続き取り組んでいく。

発達障がいのある方にも  
優しい対応を



至誠クラブ  
斎藤 由紀

**Q** 発達障がいに対する療養の必要性、重要性を強く感じている。こども支援センター「発達支援エリア」「マーガレット」の発達に関する専門相談件数が増加傾向であり、今後、発達障がいに対する支援を市としてどのように対応の幅を広げていく予定なのか、見解を伺う。

**A** 発達障害児への支援として、マーガレットや松原学園などでの相談支援や、市内多くの児童発達支援や放課後等デイサービスでの通所支援を引き続き行う。さらに、周囲からは分かりづらい障害である発達障害については、周囲や地域の理解、支援力を高めることも必要だと考えている。そのため、発達障害の特性や関わり方を理解するための保護者向けグループ活動や、研修・講座を通じて地域全体の支援力を底上げし、包括的な子育て環境の充実を目指していく。

子どもたちの  
金融リテラシー向上を



さきかけ  
荻野 泰男

**Q** 専門家や金融機関など外部のリソースを活用した金融経済教育がより多くの学校で実践されるべきであると考えているが、教育長の見解を伺う。

**A** 現在、キャッシュレス決済の普及が急速に進んで、日常生活で現金を扱う機会が減っているという中で、子どもたちに対して金銭感覚を養うための教育は大変重要である。子どもたちを指導する際には、外部の人材やプログラムなどを活用する

ことは有効であると考えている。今年度、市内小学校の5年生の家庭科の授業で、小学生のお金への関心、知識向上などに貢献することを目的に実施した「金融機関が主催する金融リテラシーセミナー」など、外部のリソースの活用について、今後も研究し、学校に情報提供するとともに、金融に関する正しい知識をしっかりと身につけられる子どもを育てていきたいと考えている。

避難所となる体育館の  
窓ガラスに飛散防止対策を



立憲新選組  
植竹 公明

**Q** 災害発生時、小中学校の体育館が避難所となる。最大震度7を記録した東日本大震災では、体育館の窓ガラスの飛散被害が相当数あった。本市で大地震が発生した場合、体育館の窓ガラスが割れてしまうおそれがあり、床にガラスの破片が飛び散った状態の体育館では避難所を開設することができない。そこで、体育館の窓ガラスに飛散防止用フィルムを貼るといった対策が必要だと考えるが、見解を伺う。

**A** 体育館の窓ガラスだが、地震によってガラスが破損し飛散する可能性があることから、飛散防止用フィルムを貼る方法は有効であると認識している。現在、体育館の非構造部材の耐震化としては、照明器具やスピーカー、バスケットゴールなどの落下防止策から始めているところであり、窓ガラスについては、他の事業の進捗状況を考慮した上で、順次進めていきたいと考えている。



不登校児童生徒に対して  
学びの場の確保を



公明党  
大久保 一

**Q** 小中学校の不登校の児童生徒は、全国で34万人を超えており、本市では令和5年度で862人である。もはや不登校は学校や社会に問題があると言わざるを得ないところに来ているが、本市での不登校支援について、教育長の思いは。

**A** 不登校対策については、多くの自治体を取り組んでいることを参考にする必要がありと思うが、人と人とのつながりを通して、できるだけ学校に復帰させることを目標

に取り組む必要があると考えている。多くの人や仕組みを取り入れ、不登校を生まないための学校づくり、児童生徒に対して適切な指導ができる教員の資質向上、さらに、不登校になってしまった場合のフLOORアップ体制の充実など、様々な側面から対策を  
実行し、一人でも多くの子どもたちが学校に戻ってこられるように、そして不登校を生まないように、教育委員会としても研究と実践を重ねていきたいと考えている。

新所沢駅西口のシンボル  
女神像の噴水の再生を



共産党  
日本  
小林 澄子

**Q** 新所沢駅西口のシンボルである女神像（歓びの像）の噴水について、地元自治会や住民から噴水を残してほしいとの声が改めて寄せられている。その中には、市が財政的に厳しいのであれば、クラウドファンディングによる資金調達の手法の提案もあった。令和6年9月定例会の一般質問の答弁では、「今後については、各自治会に意見を伺った上で、噴水池の今後の方針を決定していく」と

のことだった。各自治会からの意見聴取は終わっていると思うが、どのような意見が出されたのか。

**A** 各自治会からの意見聴取については、新所沢地区の全16自治会にアンケートを実施した。各自治会からは、歓びの像を残して花壇として地元で管理していく案や、低木を植樹して市で管理していく案、噴水の修復を希望する案などの意見をいただいている。

令和7年5月1日から通年会期制が始まります

会期を通年（1年間）として定め、会期最終日の翌日に次の会期が始まるので、閉会中の期間はなく、常に議会が活動能力を有し、市長の招集を待たずにいつでも機動的に会議を開くことができます。

■年間スケジュール

これまで定例会の始まる日が年によってまちまちとなっていましたが、定例会議の始まる日を6月1日、9月1日、12月1日、2月18日に固定化することで、スケジュールが分かりやすくなります。

令和7年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年	1月	2月	3月	4月
	5月15日 臨時会議	6月1日~ 定例会議			9月1日~ 定例会議			12月1日~ 定例会議			2月18日~ 定例会議		
会 期 (令和7年5月1日から令和8年4月30日まで)													

※ 定例会議の詳細な日程については定例会議の始まる日の一週間前の議会運営委員会で決定します。



## 総務経済常任委員会

11月28日をもって、総務経済常任委員長に粕谷不二夫議員が就任しました。



## 健康福祉常任委員会

委員会審査 10月10日・11月15日

### 所沢市の未来に向けての 子育て支援についての提言



こども未来部に提言を手渡しました

本市の現状において、核家族化の進行による親の孤立感や育児不安の増加、学童の待機児童や狭隘化きょうがいなど多くの課題が残っていることから、「さらなる子育て支援の充実」が必要だと考え、委員会として提言する。

- 1 緊急待機児童対策として、放課後児童施設の拡充はもちろんのこと、既存施設や学校施設の活用を含めた生活クラブ・児童クラブの定員の拡大を図り、あらゆる手段を駆使して待機児童ゼロを早期に実現すること。また、国や県の制度も積極的に活用し、迅速な対応を行うこと。
- 2 学童保育については、地域の偏在化の課題解決に取り組みながら質と量の確保を進め、子どもの最善の利益を守るために、学童保育が子どもにとって安心して過ごせる暮らしの場であり続けること。また、「所沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の第10条第2項に基づき、学童保育専用室の確保を徹底し、子どもたちが安全で快適な環境で過ごせるようにすること。
- 3 質の高い保育サービスを提供するため、保育士の増員を進めるとともに、保育現場の実態調査を行い、保育士の労働環境の改善に積極的に取り組むこと。これにより、保育士の確保と離職防止を図り、安定した保育環境を実現すること。
- 4 保育園、幼稚園及び小学校で実施されている保護者向けアンケートについて、潜在的な利用希望者のニーズを正確に把握すること。具体的には、令和5年度実施のアンケートにおいて活用したWebアンケートのさらなる推進や、回答の負担を軽減するための設問の見直し、回答期間の柔軟な設定、保護者への周知強化などを行い、多くの意見を集められる環境を整えること。これにより、子育て世帯が求める具体的な支援内容やサービスのニーズに対して、効果的かつ利用者目線に立った施策を実施すること。
- 5 生活困窮家庭、ひとり親家庭、障がい児を育てる家庭に対する支援を強化し、経済的、精神的なサポート体制を充実させるとともに、就労支援や子育てに関する相談窓口の拡充を図り、あらゆる家庭が安心して子育てを行える環境を整備すること。
- 6 ヤングケアラーの実態調査を実施し、その支援環境を充実させること。子どもが過度な負担を抱えず、学業や生活を両立できるよう、早期支援を行い、関係機関と連携して適切な支援体制を整備すること。さらに、ヤングケアラーの負担軽減に向けた支援の拡充も検討し、子どもが伸び伸びと成長できる環境の実現を目指すこと。



## 市民文教常任委員会

委員会審査 10月22日

### 所沢市における特別支援学級の充実について

並木小学校 難聴特別支援学級「すずらん学級」の授業を現地調査

- すずらん学級 令和6年4月から新設された、聴こえにくさのある児童一人一人の聴こえ方に合わせた学習を進めることのできる学級のこと。

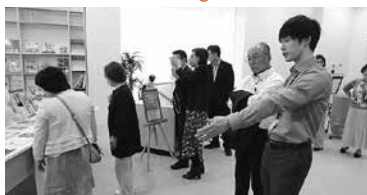


# 建設環境常任委員会



行政視察 10月28日▶10月29日

委員長のひとこと



愛知県  
安城市

## ■ 中心市街地拠点整備事業

まちのにぎわいと情報発信地として、野外の広場を「願いごと広場」として細分化した貸し出しや、図書館1階部分の一部を柔軟な条件で貸し出しを行うなど、飲食もできることでにぎわいの創出に努めていました。また、図書館では自動貸出機の導入を進め、予約した本を24時間いつでも受け取りが可能になっており、このような図書館と融合されたまちづくりは大変参考になりました。



愛知県  
名古屋市長

## ■ 道路と鉄道の立体交差事業

鉄道事業者の費用負担は1割でありながら、事業化はなかなか難しく、特に鉄道が日々運行している中での事業の難しさを、視察を通して実感させていただきました。

本市でも2箇所の工事が進んでおりますが、まだまだ開かずの踏切もありますので、今後も安心・安全のため、委員会としてしっかり取り組んでまいります。

# 議会運営委員会



行政視察 11月11日▶11月13日

委員長のひとこと



三重県  
四日市市議会

## ■ 通年議会の運用

### ■ 本会議におけるペーパーレス会議システムの導入

四日市市議会は、本市と人口が同規模で同じ一般市の中でも議会改革が先行しており、最も早い時期の平成23年に通年議会を導入しています。

また、ペーパーレス会議システムにモアノートを採用しているため、これまで視察してきた議会が採用しているサイドブックと比較することができ、とても参考になりました。



三重県  
鳥羽市議会

## ■ 通年会期制の運用

### ■ 本会議におけるペーパーレス化

鳥羽市議会では、平成26年より通年会期制を導入しています。また、ペーパーレス会議システムを使用せず、ペーパーレス化を進めている事例として視察しました。

ペーパーレス化の推進は執行部からの要請ではなく、議会主導で行われており、議員の意識の高さと結束力を見習うべきであると感じました。



愛知県  
刈谷市議会

## ■ 本会議におけるペーパーレス会議システムの導入

令和6年6月定例会からペーパーレス会議を導入しており、最近の導入事例として大変参考になりました。これまで、埼玉県議会、墨田区議会、四日市市議会、鳥羽市議会、刈谷市議会を視察しましたが、埼玉県議会と刈谷市議会では完全ペーパーレスが実現できていました。課題の整理もできてきましたので、所沢市議会も完全ペーパーレス化に向けて取り組んでいきます。

# 広聴広報委員会



行政視察 11月18日▶11月19日

委員長のひとこと



埼玉県  
越谷市議会

## ■ 越谷市学生議会

当時の議長の「越谷市の2つの大学との連携を強化したい」という思いと、次世代を担う若者に、市政や議会への関心を深めてもらうことを目的に、平成22年度から大学生を対象とした学生議会を開始しました。市内には越ヶ谷、越谷北、越谷西、越谷東、越谷南高校の普通科、越谷総合技術高校には工業科・商業科・家庭科があり、通信制の高校もあることから、参加者を高校生まで広げること、さらに幅広い年齢層の声を聴くことができ、越谷市に愛着を持つ生徒がもっと増えるような気がしました。



山形県  
南陽市議会

## ■ 南陽みらい議会

山形県遊佐町の「少年議会」をアレンジしたものであるとの話を聞いたことから、大変興味が湧き、今回の視察を行いました。本市でも今年度から高校生を対象とした議会報告会を始めたばかりですが、人口減少が進む中、子どもたちが生まれ育った地域に関心と愛着を育み、進学や就職でいつかは本市を離れても、いつの日か戻りたいと思ってもらえるような、さらなる取組をしていきたいと改めて思いました。



# 議会報告会 高校生と議員で語り合いました！



詳細はコチラ

今回のテーマ **所沢市を魅力あるまちにしていけるためには、どうしていくべきか**

若い世代の声を聴き、市政に反映する契機とするため、これからの将来を担う高校生を対象とした議会報告会を開催しました♪



11月6日 所沢西高校の生徒21名



11月25日 所沢高校の生徒15名

## 11月6日



### Aグループ 花岡健太議員 亀山恭子議員

高校生の意見

小手指駅周辺に飲食店はあるが、若者向けのお店がないので、若者が行きたいと思うような飲食店を増やしてほしいです。

議員の講評

「商業施設を増やしてまちを盛り上げるために、保育施設を増やすべきだ」というような、具体的に踏み込んだ議論に発展していて、すばらしい。



### Bグループ 荻野泰男議員 斎藤由紀議員

高校生の意見

ところざわまつりの知名度が低いので、もっとSNSやポスターでアピールしてほしい。ところざわまつりで打ち上げ花火が見られたらうれしいです。

議員の講評

ところざわまつりの知名度が低いということは知りませんでした。違った目線で見ると、いろんな意見が出てくるので勉強になりました。



### Cグループ 末吉美帆子議員 佐野允彦議員

高校生の意見

所沢の魅力や地域活動の現状をもっと発信していくべきだと思います。様々な情報発信の方法を活用することで所沢が活性化すると思います。

議員の講評

地元の所沢西高校の生徒ならではの視点を感じました。生活スタイルが違うからこそ、新たな視点ももらい、本当に感銘を受けました。



### Dグループ 石本亮三議員 青木利幸議員

高校生の意見

12球団しかないプロ野球の球団の1つが所沢市にあるということは強みなので、野球で市に人が入ってくるようにしてほしいです。

議員の講評

皆さんの物事を見る角度、視点が全然違うということ、これからの自分の活動において活かしていきたいと思っています。

## 11月25日



### Aグループ 神戸鉄郎議員 小林澄子議員

高校生の意見

観光地を自転車で巡りたいと思ってもらえるようにスタンプラリーにしたり、名産品のPRを打ち出して、市内の観光地が発展してほしいです。

議員の講評

「自転車で所沢の観光業の発展」というキャッチフレーズで、現状を把握し、数多くの意見があって、政策提案もしっかりしていました。



### Bグループ 中井めぐみ議員 島田一隆議員

高校生の意見

所沢駅周辺はテーマパークやアミューズメント施設が増えてきたので、小さい子も集まる場所の治安対策を見直したほうがいいと思います。

議員の講評

若い人たちは私たち以上に所沢のことを細かく見ている、所沢に良いものがあるということを感じていて感銘を受けました。



### Cグループ 斉藤かおり議員 赤川洋二議員

高校生の意見

新しいものだけでなく、今まである、例えばトロの森のようにこれまで大事にしてきたものを、もっと活かすことも必要だと思います。

議員の講評

新しいものだけでなく、歴史ある所沢の良いところ、文化や歴史を大事にして、それを発信していくという考え方がすばらしいと思いました。



### Dグループ 植竹成年議員 粕谷不二夫議員

高校生の意見

SNSを戦略的、効果的に活用して所沢市を売り出してほしいと思います。目的にあった形でSNSを使ってほしいです。

議員の講評

貴重な声を聴かせてもらい、とても有意義な時間でした。このような場をもっとつくってほしいという声をいただき、大変うれしく思います。

# INTERVIEW No.37

## 三遊亭究斗さん

香川県高松市出身 所沢市在住  
 劇団四季出身のミュージカル俳優から落語家に転身した異色の経歴を持ち、その経験から世界でオンリーワンの“ミュージカル落語”を発売。2010年からは「教育が一番」を掲げ、教育講演活動を開始し、小中高校・PTA・地方自治体等、全国各地で約400の講演を行っている。自身のいじめられた経験を基に「いじめ撲滅」をテーマにした作品も創作しており、日本一、子どもたち（小中高校）に講演している。



### ■ミュージカル落語を始めたきっかけは

故郷の香川県のアマチュア劇団にいましたが、「劇団四季に行きなさい」という占い師の言葉を信じてオーディションに応募しました。一度目は一次で落ちましたが、諦めず1年間レッスンを続け、二度目で合格しました。

30歳を過ぎた時に「別の世界を見てみたい」と強く想い、占い師に落語家への転身を相談したところ「すぐになりなさい」と背中を押され、当時は異例の34歳で落語家になりました。40歳の時に「自分しかないものをつくりたい」と想い、劇団四季時代の役作りの方法論、歌と音楽を落語に取り入れた『ミュージカル落語』を創造しました。

### ■どんな講演をしていますか

最初は古今東西の名作・偉人伝を分かりやすく、「面白く伝える」「エンターテインメント」が中心でしたが、いじめがテーマの『一口弁当』という作品を創ったところ、反響を呼び、全国の学校から講演の依頼をいただきました。私自身もいじめられた経験があり、子どもたちを笑顔にしたいという想いから「教育が一番!」を掲げ、教育と娯楽を融合した『エデュテインメント』の作品を創っています。

### ■講演から伝えたいことは

「自分でためないで、誰かに相談しなさい。誰かに相談すれば、必ず助けてくれる人が周りに絶対いるから、まず相談しなさい。物事は考え方ひとつ、ピンチとチャンスというのは紙一重だから、つらくても悲しくても、口角を上げて、笑っていけば、いつかチャンスが来る」と話していますね。

そして、「嘘をつくこともあるけれど、他人を欺いたりすると、大概の人は心にちよっと傷ができます。最初は痛くも痒くもないけれど、どんどん嘘をつき続け、人を騙していくと、これがどんどん大きい深い傷になる。

だから、大切なのは真摯さだよ。正直に誠実に生きていくことが、あなたの人生をより輝けるものにするよ」という話をします。

### ■これからの目標は

子どもたちから「勇気が湧いてきました」「あなたの魔法でみんなを笑顔にしてください」という声をもらい、一人でも多くの子どもたちに、いじめ撲滅の作品を届けたいと思います。今までは依頼を受けて講演に行っていました。自分たちから出かけて行って、子どもたちの心を元気にするNPO法人『子どもたちをいじめから守る文化芸術協会』をつくらうと思っています。

議員たちの…

# 冬

令和6年を象徴する一文字が「金」に決定!!  
 令和7年は何の

一文字になるんでしょうか? 光り輝く年になりますように、しっかりと議論していきます。

(中)

ここ数日、冬らしい寒い日が続いています。庭の落ち葉掃きをしなればと思いつつ外に出るのが辛い。年のせいでもあるのかな。  
 (青木)

子どもの頃、年の瀬は豊の天日干しや障子の張り替えをしましたが、今はカーテンやカーペットを晴れ間に洗濯して正月の準備をします。  
 (大館)

広聴広報委員会

◎秋田 孝 花岡 健太  
 ○大久保竜一 長谷川礼奈

石本 亮三 亀山 恭子  
 斉藤かおり 中 毅志

神戸 鉄郎 青木 利幸  
 中井めぐみ 大館 隆行

◎:委員長 ○:副委員長

所沢市議会

検索



次の定例会は2月18日(火曜)から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。  
 配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎2928-8695 FAX2924-0630 まで。